

# 平成30年度第1回笠松町地方創生総合戦略審議会

## 会議録（概略版）

平成31年2月19日笠松町役場4階大会議室において、平成30年度第1回笠松町地方創生総合戦略審議会を開催した。

その次第は、次のとおりである。

1. 出席委員 内藤吉雄委員 葛谷昌彦委員 岩村雅人委員 岡田悠子委員  
森英信委員 久納万里子委員 田島清美（尾関俊治委員代理）  
岩井弘榮委員 二村 浩委員 樋口史子委員

1. 欠席委員 岩田壽委員 尾関俊治委員

1. 出席者 町 長 広江正明 副町長 川部時文  
事務局 企画環境経済部長 堀 仁志 企画課長 山内 明  
副主幹 知識正章 主任 仙石直城

1. 開会時間 19時30分開会

### 1. 審議会内容

#### ① 町長あいさつ

大変お疲れのところ会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。

笠松町まち・ひと・しごと総合戦略を策定した後、皆様にお集まりいただき、事業の検証をいただき、いただいた意見を基に新たな対応を考え事業を実施しているところです。

平成27年に笠松町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しており、現在に至るまでに町政に大きな変化があった。皆様ご承知のとおり、今までは各自治体で実施していたものが今年の5月に岐阜市と中枢連携都市圏の協定を締結し、これからは面（地域）として実施していく流れができたことであります。

この連携中枢都市圏のビジョン策定委員会に今日ご出席の森委員と岡田委員に加わっていただき、議論を重ねていただいているところであります。

そういった中で、本日皆様に総合戦略の進捗状況や効果・検証をいただき、これからの事業実施について、皆様から忌憚のないご意見をいただきながら進めてまいりた

い。

## ② 会長あいさつ（岩井委員）

岐阜市を核とした連携の流れが出てきた。この総合戦略を策定した5年前にも、近隣市町との連携の推進を答申の中に盛り込んだと記憶しているので、そのような流れが出てきたことは喜ばしいことと思っている。

この5年間の動きとして、国としては東京一極集中を無くそうとの狙いだったが、実際はそれに拍車がかかっているように思われる。国も見直しを行い、2018年改訂版が策定されている。後程、事務局より新たな施策等について説明があると思うが、国が地方自治体の事業の推進にあたって切れ目なく取り組んでいただきたいと述べておりますし、これを終わらせるのではなく、次の計画に結びつくように、政策課題を見出すような、共通認識をつくるような、効果検証を実施していただきたいといっているわけです。

今日の委員会で5年間の検証での折り返し地点となるが、今後の計画を見据えた建設的なご意見をいただきたいと考えている。よろしくお願いします。

## ③ 議事

### （1）笠松町まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

[事務局より資料説明]

[岩井会長より会議の進め方について説明]

[事務局より審議会について説明]

[事務局より人口推計について説明]

岩井会長 今の説明に対しご意見等があればお聞きしたい。

### ＜基本目標1＞仕事をつくる

岩井会長 4つの基本目標の中で一番の要だと思われるが、製造品の出荷額もKPIをクリアしている。また、KPIの設定も難しい項目もある。

### ＜基本目標2＞笠松に呼び込む

森委員 町の観光資源を活かした魅力づくりについて、リバーサイドカーニバルや川まつりなどのイベントで行政主導の交流は図られているが、住民レベルでの交流は実施されているのか。

白川町の地歌舞伎や笠松町の大名行列など文化の交流を図るとともに、住民同

士の交流を深めていくべきではないか。

川部副町長 白川町とは災害時の応援協定を締結している。住民の交流としては、山の日  
に笠松町の親子が白川町に行き、各種体験をするなどの交流は実施している。

事務局 白川町の子どもたちにも来てもらうよう、調整はしているがまだ実施できてい  
ない状況である。

#### <基本目標3>ひとを育む

広江町長 ホームステイの状況を把握することは出来ないのか。

事務局 ホームステイに対する助成制度があれば、申請者数を把握することは可能であ  
るが、民間での実施件数の全てを把握することは困難である。

岩井会長 計画も中間年を過ぎ折り返しとなっている。全体を通して皆様の意見をいただ  
きたい。新たな人口推計では計画策定時より更に人口が減少する推計となってお  
り、より一層の努力が必要であると思われるがどうか。

事務局 その通りです。

岩井会長 評価内容について事務局案のとおりでいいか会議に諮ったが異議が無かったため、  
効果検証については事務局案のとおり承認された。

#### ④その他

移住支援事業・マッチング支援事業（わくわく生活パッケージ）について

[事務局より資料説明]

岐阜連携都市圏ビジョンの改定について

[事務局より資料説明]

第二次地方版総合戦略について

[事務局より資料説明]

未実施事業のKPI見直し案について

[事務局より資料説明]

岩井会長 事務局より現在把握できていないKPIについて、今後の計画においても把握  
すべき指標であると考え。効果検証できる指標を設定していく必要がある。

委員の皆様にご意見を求めたが、特に意見が無かったため、事務局案のとおり見  
直すことで了承された。

森委員 岐阜連携都市圏における連携について、相互の市町でサービス格差が無くなる  
等、町民が実感できる連携はできないのか。例えば岐阜市の科学館の入館料が無

料になるなど。

また大河ドラマ「麒麟が来る」の明智光秀に直接は関係ないが、笠松町にも関ヶ原の戦いの前哨戦跡があるなど、歴史資源もあるのでそういったものも活用できないか。

岡田委員 5月に行われるかさマルシェをはじめ、若い方への情報発信が重要であると考え。企業誘致など活力の創出を図り、まちを元気にしていきたい。

ふらっと笠松に高校生が立ち寄り、地元企業紹介等、人材不足の解消も実施していきたい。国・行政と連携して企業支援を進めていく。

1. 閉会時間 21時00分閉会